

広報紙は、行政と市民の皆さんを結ぶパイプの役割を果たすものです。市では、「広報常陸大宮」を月1回、「旬報ひたちおみや」を月3回発行しています。

このたびは、これらの広報紙を充実し、市民の皆さんに親しみやすいものとするため、次の10人の皆さんに広報協力員をお願いすることとなりました。

- 中山さちこさん (三美)
- 鈴木満里子さん (下町)
- 鳥喰 昌さん (野上)
- 相沢 洋子さん (諸沢)
- 初原 智明さん (鷺子)
- 岡崎 正男さん (下檜沢)
- 矢野 正紀さん (上小瀬)
- 本橋 久則さん (小舟)
- 青柳 芳子さん (長倉)
- 石川 皓一さん (野口)

今後は、「広報常陸大宮」等で、協力員の皆さんから提供いただいた各地域の身近な話題などを紹介していく予定です。よろしくお願ひします。



FIRE DEPARTMENT HITACHIOMIYA
消防本部 (隊) 常陸大宮

第7回

わが家の火災予防対策

出火原因別・防火のポイント

FDH
119



天ぷらを揚げるときは、その場を離れない

こんろ

建物火災の原因で一番多いのが、こんろからの出火です。出火原因のほとんどが消し忘れです。その場を離れるときは必ず火を止めましょう。



電気器具は正しく使い、たこ足配線はしない

電気器具

電気器具は使用説明書などをよく読んで、正しい使い方を心がけましょう。コードに傷みはないかチェックし、たこ足配線はしないこと。



寝たばこやたばこの投げ捨てはしない

たばこ

建物火災の出火原因の約1割がたばこです。「火源の転倒・落下」「投げ捨て」により出火するケースが目立ちます。①喫煙場所を決めておく、②灰皿には水を入れておく、③必ず消火を確認する、などたばこは慎重に扱きましょう。



子どもに、マッチやライターで遊ばせない

火遊び

子どもの手の届くところにマッチやライターを放置しないこと。花火の際には必ず大人が付き添い、消火用水の用意を忘れずに。また、子どもには火の怖さを徹底して教えておきましょう。



家のまわりに燃えやすいものを置かない

放火

放火による火災もあとを絶ちません。家のまわりに燃えやすいものを置かない、ごみは収集日の当日に出すなど、放火に狙われにくい環境づくりが大切です。



ストーブには燃えやすいものを近づけない

ストーブ

ストーブを洗濯物の乾燥機代わりに使用したために出火するケースが目立ちます。ストーブを本来の目的以外に使用するのは厳禁です。またストーブの周辺は常に整理整頓し、燃えやすいものを近づけないようにしましょう。



風の強いときは、たき火をしない

たき火

たき火による火災も少なくありません。出火原因の約5割が火の飛び火によるもの。風の強いときは行わないなど、十分な注意が必要です。



平成17年火災・救急件数
(4月30日現在)

火災件数	8件
救急件数	557件